

令和7年4月13日執行

真庭市議会議員選挙「選挙公報」

真庭市選挙管理委員会

- 地域づくり**
- 農産物直売所を応援します**
小規模農家・兼業農家のやりがい、生きがいを地域のコミュニティ維持につなげよう。
 - 「集いの場」を応援します**
地域と一緒に運動・おしゃべり・食事をし、生き活きとすごそう。
 - 地域で子どもを育てよう**
a. コミュニティ・スクール
b. 部活の地域移行
 - 真庭市の財政をウオッチします**
 - 議会活動の見える化を更に進めます**
- プロフィール
落合高等学校卒業
1981年 学習院大学 経済学部卒業
1996年 (株)キタムラ 取締役
1999年 (株)ピコムキタムラ代表取締役
2015年 (有)伊藤写真館
2019年 北房児童クラブ
2021年 真庭市市議会議員



いじま よしひこ

あなたの声に真剣! 誠実!
妹尾ともゆき
明日の真庭市を目指して!

安心して子育てできるまちづくり
○地域の実情に応じた多様な保育サービスの提供を目指します。
○若者の意見を尊重し誰もが人間らしく暮らせる「地域共生社会」を目指します。
○妊娠前から子育て期まで切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」機能の充実を目指します。

高齢者・障がい者に優しいまちづくり
○介護予防へとつながる健康づくりを推進します。
○高齢者・障がい者の社会参加を促す環境を整備します。
○地域での「通いの場」(サロン)での各種フレイルチェックの充実を行い健康寿命の延伸に努めます。

災害に強いまちづくり
○避難所の見直し・整備、災害時避難所での衛生管理の充実、自主防災組織の強化と地域防災リーダーの養成に取り組みます。
○各種協会との災害時連携協定の充実を進め、安全・安心を守ります。
○真庭市国土強靱化計画の見直しで市民の命と財産を守ります。

昭和35年7月生まれ(64歳) ○党役員
昭和中3月 久世町立運橋小学校卒業 県本部地域局 次長
昭和48年3月 久世町立久世中学校卒業 県本部政策局 次長
昭和51年3月 岡山県立久世高等学校卒業 真庭支部 副支部長
昭和54年3月 株式会社高島屋建井商店入社(S61.3退社)
4月 株式会社おかやまコープ入社(H21.3退社)
昭和61年10月 真庭市議会議員初当選(現4期)
平成21年4月

妹尾ともゆき 公明党公認



議員改革 議員定数22を18に!

真庭の未来へ
次なる世代のために

おがた尚の約束

- 子育て支援
- 不登校支援
- ひきこもり支援
- 障がい者支援
- 教育の質向上
- 若者の雇用支援
- 高齢者福祉の支援
- 観光振興の支援
- 農林業への支援

おがた尚



だれもがどこでも安心して暮らせる社会
どこでもだれもが大切にされる社会

お年寄りが笑顔になり
子どもや若者やおじさんおばさんたちの
笑顔が通い合うそんな社会になったらいいなあ

村上よしひこ



皆様と市政に取り組めます

やる気 げんき ほん気

鳥獣害対策
高齢者の暮らしの課題
農地の存続
地域防災の推進
未給水地域の課題

西田ふみこ



新しい選挙の形 3つの約束
お昼寝・学習 35歳までできる
静かでやさしい選挙 4つのNO!
組織に頼らない選挙 No マイク・スピーカー
お金をかけない選挙 No 選挙カー・後援会・マネーテ

データで見る真庭市議会 2025年3月時点
女性3名(23名中) 平均年齢65.7歳
40代2名(8.7%) 30代0名 最年少46歳
*市内人口: 40代以下約42% 30代以下約30%

当落票差: 平均68.7票 最小2票

一緒に困る、一緒に変える。
The Personal is Political.
議会に多様性を
教育にワクワクを
子育て政策に当事者の声を
みんなに住みやすい街を

あなたの1票で、変わる!

4月13日(日)日直
公式ウェブサイト

OKU 奥 侑樹 YUKI



真庭のために。ミライのために。
おぐら一郎

○県立高校の存続を
市内の県立高校2校1校は地域の文化と人材を育む拠点であり、存続を目指します!

○子育てのまちを目指して
地域のみならず子育てを行う「子育てのまち」を推進し、真庭に住みたい、住み続けたい子育て環境の充実。
小中学校の給食無償化を目指します。保育料の無償化を目指します。

○更なる観光振興を
大自然に囲まれた真庭地域など、環境を活かした観光資源を育て、活力ある観光産業を推進します。

○地産地消のエネルギー創出を
豊富な森林資源、豊かな水資源、農林業の副産物(牛糞や廃棄野菜)など最新技術を活用した新たな地産地消のエネルギー創出を目指します!

○地域の安全・安心を
消防団員の経験を活かし、消防・救急・防災の更なる充実を行い、だれもが安全・安心な暮らしができる真庭市を推進します!

1973年9月22日生まれ(51歳) 真庭市育ちの51歳
1986年 八束小学校卒、1989年 真庭中学校卒
1992年 県立真庭高等学校(現在の県立真庭高等学校真庭校地)卒
1994年 日本レジャー専門学院アウトドアビジネス科卒
イベント会社にてアウトドアスポーツの指導員として勤務、建設業を経て
2019年 株式会社ロードサービス入社

おぐら一郎 公明党公認



持続可能なまちづくり

この度の真庭市議会議員選挙にあたり、2期目を目指し立候補致します。

全国的に、少子高齢化が進んでおります。真庭市も例外ではありません。

産業の後継者の問題・限界集落の生活・安心できる子育てなど課題は山積しております。持続可能な真庭のまちづくりを目指し、市民の皆様の声聞き議会に届け、住みよい真庭市づくりにまい進してまいります。

皆様のご支援を賜りたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

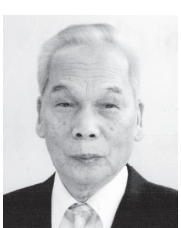
森脇まさかず



若者がリターンする真庭
☆子育て・教育・医療の増進!!
☆スマート農業導入で安全な作業

子育て支援の充実と課題解決
結婚から出産・乳幼児期・小中高生まで応援プロジェクトのタイムリ
な実行と給食費の安心
人口減少を緩やかに
若者が帰って来たい・住みたい・働きたい真庭の政策を実行
高度医療の確保で安心を
救急と医療の早い連携
SDG's AI・Society5.0
スマホとアプリで行かない・書かない・持たないスマート窓口
Sキヤリア企業とスタートアップ企業の連携で回る経済を
スタートアップ企業の支援

かとう 大悟



真庭市議会議員選挙
投票日 **4月13日(日)**
投票時間 **午前7時から午後6時まで**

(1) (この選挙公報は候補者のうち申請のあった方について、提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものです。)

令和7年4月13日執行

真庭市議会議員選挙「選挙公報」

真庭市選挙管理委員会

行やけがら高代少
ミ物福ら方子
た社なもも子
い高の急の突
と対充方一の
思策も市に入
つを大策に
て議特勢増
お員進に
り定進う
数進めッ
の削子
減育
を育
進支



青木 けんたろう

議員定数を削減する！

- ・ 出会い・出産・育児・教育・子育て支援
- ・ 市民と事業者への物価高対策支援
- ・ 社会的弱者への支援

活動実績はウェブ検索かQRコードからご覧ください



真庭市 あさの かずあき



宅地建物取引士
あさの かずあき

(46歳)

若い力で市政を動かす!!

2024年、真庭市は再び消滅可能性都市に選ばれました。今こそ、若い世代に焦点を当てたまちづくりが必要です。一緒に若い世代の声が届く市政を目指しませんか？

三つの指針

- ☑若者に選ばれるまちづくり!!
- ☑先端技術活用等将来性ある分野に注力した提案!!
- ☑スポーツ・文化活動が盛んな活気溢れるまちの実現!!

【プロフィール】

・ 京都大学大学院人間・環境学研究所修士課程 修了
 ・ 2011-2017 日本生命グループIT戦略会社ほか民間企業 勤務
 ・ 2017-2025 真庭市役所(総合政策課ほか) 勤務
 ・ 2025- 「真庭共創研」代表
 ・ 真庭青年会議所総務委員会委員
 ・ 真庭市スポーツ協会理事、「晴れの国岡山駅」市代表チーム監督
 ・ 学芸員資格、経産省認定高度情報処理技術者 (DB/NW/SC)

新人・無所属・38歳



たしま よしあき
田島 吉章

住んでみたい 住み続けたい まちづくり

安心安全のまち

- ～暮らしの安全は当たり前で、最優先されるべきこと
- 地域に暮らすひとが安心して生活できるまちに
- あらゆる世代のひとにとって利便性の高い環境づくり
- 少子高齢化に対応できる地域づくり

活力のあるまち

- ～いちはらに誇りを持って暮らしたいと思えるふるさとに
- ひとの誇りの取戻し
- 子育てや教育のための環境整備
- 生きづらさを抱えるひとの居場所づくり

【プロフィール】

昭和39年6月20日生 (60歳)
 昭和58年3月 落合高等学校卒
 昭和62年3月 早稲田大学政治経済学部経済学科卒
 令和3年4月から真庭市議会議員

議員として一期目の4年間、市政全体にかかる課題の解決や施策にかかる提言等を行ってまいりましたが、まだまだ改善や強化、買直しを働きかけていかなければならない事柄がたくさんあります。
 災害リスクその他、地域の抱えるさまざまな課題を解決するとともに、それぞれの地域の活力や強みを活かした地域の活性化をみなさんと一緒に考え推進することを通じ、「ここに住んでみたい、住み続けたいまち・真庭」の実現に尽力します。



吉原 啓介

夢ある未来 明日の真庭のために。

福島かずのりは全力で取り組んでいます！

1 農業を実感できる真庭のまちづくり!

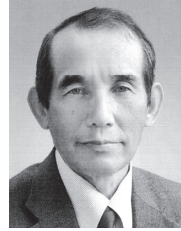
- 営農家への特色ある農業支援を展開する
- 農業交流を推進し、企業と連携して農業の発展をはかる
- 真庭の資源を有効に活用して循環農業を推進する

2 バイオマスタウン真庭にふさわしいまちづくり!

- バイオマスで循環型の農林業の構築を目指す

3 少子高齢化の地域福祉真庭のまちづくり

- 健康寿命を実現する元気な活動を推進する
- 子育て支援のさらなる充実をはかる
- 高齢者と子どもたちの交流をはかる



福島 かずのり

いつまでも住み続けることのできる真庭市に

「少子化にストップ」若者の住みやすい街に
 小・中学校の給食費無償化を
 すでに県内7市町村が実施し、6市町村は一部無償化しています。全国の自治体の3割以上が無償化しています。
 高校生へ通学費補助、パソコンなどの支援を
 入学時の費用補助、特にタブレットパソコン(約7万円)は市の補助で無償化などの教育費支援を
ゆきとごいた保育・教育を
 中学校に、通級指導教室の設置を。小・中学校に先生を増やして、子ども先生もゆとりある学校を
 高すぎる国保税の値上げ反対、引き下げを
 小規模地域のくらしを守る
 地域集会所の水道代の減免、修繕費用の補助拡大などを
 障がいがあっても、住み続けることができるまちに
 ○公平・公正の市政への厳しいチェック



日本共産党
伊賀 もとゆき

変えよう！真庭の未来 人口減少による影響を 克服するための環境創り

私の5つの取組み

1. 産業の多様化と育成を進めます
若者が働きやすい産業を育成します
2. 金融教育を充実させます
地方でも資産運用で稼げる人材を育成
地方の生活を楽にする環境を創ります
3. 情報教育を充実させます
情報の収集・分析・発信能力を高めて
犯罪に巻き込まれない人材を育てます
4. 議会・行政サービスの効率化を進めます
IT化で少人数でも対応可能にします
5. 地域・社会の制度の見直しを進めます
人口増・高度経済成長の右肩上がりで
作られた社会制度の見直しで高齢者の
負担軽減と若者の流出を防ぎます

プロフィール

生年月日 1967年6月 真庭郡落合町生まれ(57歳)
 家族構成 父・母・妻・長男・長女(高校3年)
 略歴
 久世町立蓮南小学校(1980年3月卒業)
 久世町立久世中学校(1983年3月卒業)
 県立藤山高校普通科(1986年3月卒業)
 中央大学法学部(1990年3月卒業)
 ソフトウェア会社社員(1992年3月退職)
 株式会社谷本組社員(1992年3月退職)
 一般社団法人職員(1992.4-2016.5)
 真庭市議会議員(2017.4-2021.4)
 防衛省自衛官募集相談員(2017.4-)
 Webマーケティングコンサルタント
 (2023.10-)



谷本 あきよし

みんなでつこう！元気な真庭！

人口減少、少子高齢化という縮小社会の中、どんな未来の真庭市を目指していくか共に考え、将来も市民ひとりひとりが楽しく安心して豊かに暮らす元気な真庭市であるための発展的な変化・行動が必要な時が来ていると思います。
 目の前にある様々な課題解決とより良い真庭市となるために一生懸命に活動してまいります。

信条・・・「信は力なり」

見聞を広め経験を積み、仁(思いやり)と公正を基にした信念を持って事にあたり、信頼される人になると共に人を信じることを大切にすること。



しばた まさし
柴田 正志

みんなでやる
 いつまでも住み続けられる街づくりを目指します
 お年寄りが遠慮することなく病院や買い物に行ける移動手段の確保のための、公共交通システムの改善に取り組みます
子育てし易い街づくりを目指します
 子ども達の健全な成長を図り、子どもと保護者が一緒に成長していける環境(公園整備、居場所 作り)を目指します
安心・安全の街づくりを目指します
 地域の皆さんが安心して暮らせる環境作りのため防災、災害対応能力を高め、イザという時に備えるよう努力します
産業と地域の振興を目指します
 地域を支える中小小工業者、農業従事者の一層の振興を図るために意欲ある方達への市独自のサポートの充実を目指します
 空き家の利活用や移住定住を促進し、再び賑わいを取り戻せるように努力します



小田 やすふみ

●当日、投票に行けない人は、**期日前投票**をご利用ください。

期間：4月7日(月)から12日(土)

投票時間 午前8時30分から午後8時まで

令和7年4月13日執行

真庭市議会議員選挙「選挙公報」

真庭市選挙管理委員会

★ 議会を身近に 市民が主役

対話を大切にしまちづくりを。
市民の声が届き、分かりやすい議会に！

★ 性別に関わらず自分らしく 生きられる真庭

ジェンダー平等。特に新社会人&
子育て世代の女性の活躍を皆で応援！

★ 地域全体で「共生社会」

差別のない、だれもが安心安全に暮らし、
訪れたい真庭へ。もっと福祉に力を！

★ 文化芸術の豊かな真庭へ

地域文化を守り育て、地方であっても
豊かな芸術を楽しめる環境づくり！

自己紹介:大阪から移住して14年
真庭が大好き！1976年生まれ48才



くろ
かわ
あ
い

<私の信条>

市民が主役の街づくり！

災害に強い街づくり！

市内事業者を全力で応援！

議員定数のさらなる削減！

津山市の人口は9.5万人で28議席。

真庭市の人口は4.0万人で22議席。

(人口は令和7年3月1日現在)



せ
じ
ま
ひろ

真実 誠実 謙虚

福祉

真庭市の医療・介護・福祉の連携を促進し、地域で高齢者を支える仕組みを構築していきます。地域包括ケアシステムの強化をしていく中で、高齢者の移動支援施設や買い物支援の充実、孤立防止と地域コミュニティの活性化など、地域のニーズに沿った体制づくりを進めていきます。

武道教育

武道教育は、単なるスポーツではなく、「日本の伝統文化を学びながら、人間としての成長を促す教育」です。武道を通じて青少年の健全な育成と自立した精神を涵養して、人のため真庭のため役立つ人材を育てていきます。

行政改革

真庭市では人口減少に伴い行政サービスの維持が難しくなっています。デジタル化の推進、自治体間連携、住民参加、財政健全化などを進めていくことで、効率的で持続可能な行政運営が求められます。行政コストを削減しながら、住民に必要なサービスを維持するため、効率的な仕組みを構築していきます。

農業

真庭地域の農業を持続可能にするためには、担い手の確保・生産性向上・販路拡大・農業×他産業の連携が重要になってきます。地域の強みを生かした地元特産品のブランド化や、学校教育と連携した農業体験・農業と福祉の連携などで、地域ぐるみの農業振興を進めていきます。

公共事業

公共事業は地域の持続可能性を高めるものとして、効率的かつ市民の生活向上に直結するものでなければなりません。地域経済を活性化させる公共事業を推進し、住民参加型の公共事業を進めていきます。



は
び
ろ
た
か
ひ
さ

元気！笑顔！共生！

郷土に誇りをもてる
まちづくりの実現
*地域資源を活かした
元気あるまちづくりをめざします
*市民の笑顔がこぼれる
優しい福祉をめざします
*世代・ハンディ・ジェンダー・
外国人の壁のない共生社会を
めざします

市民の声を
市政へ届けます

昭和33年3月 真庭市久世生まれ
久世中学、勝山高校、京都短期大学卒
有限会社 香田商店
真庭市男女共同参画推進委員長 (15年間)
真庭市行政経営審議会委員 (14年間)



あ
また
と
も
こ

市民目線の市政を追求し、真庭市発展
のために全力で取り組みます。

輝く真庭へ
誠実・公正・公平を信条として
次の5項目を宣言します。

- 一、誰もが安心して暮らせるまちづくり
- 二、子育て・教育環境の充実
- 三、地域資源を活かしたまちづくり
- 四、議会改革と議員定数削減
- 五、政策決定のプロセスの透明化



し
ろう
じ
し
ろう
ひ
こ

私の目指す真庭市

農林業振興	農産物の販路拡大と直売所の整備
観光振興	新たな観光資源の発掘と誘客の強化
交通アクセス	高速バスの市内停車
道路整備	岡山米子自動車道の早期4車線化
防災対策	河川浸漬と護岸整備、自主防災組織の支援
子育て支援	幼保施設と放課後児童クラブの充実
除雪体制	要員の安定確保と計画的な車両更新
議会改革	政策提言、市民参加、情報公開による議会活性化の推進

今後とも我々議会が果たすべく役割を十分に発揮しながら、「真庭市が全国の農山村モデルになる」との意気込みを持ち、定住、交流人口の拡大、持続可能な地域づくりに向けて、皆様のご意見を聞きながら真庭の地域価値を高め、危機感を持って「脱地域消滅」に挑戦してまいります。

政策を提言し実行します



な
が
お
さ
む

投票日 4月13日(日)

投票時間 午前7時から午後6時まで

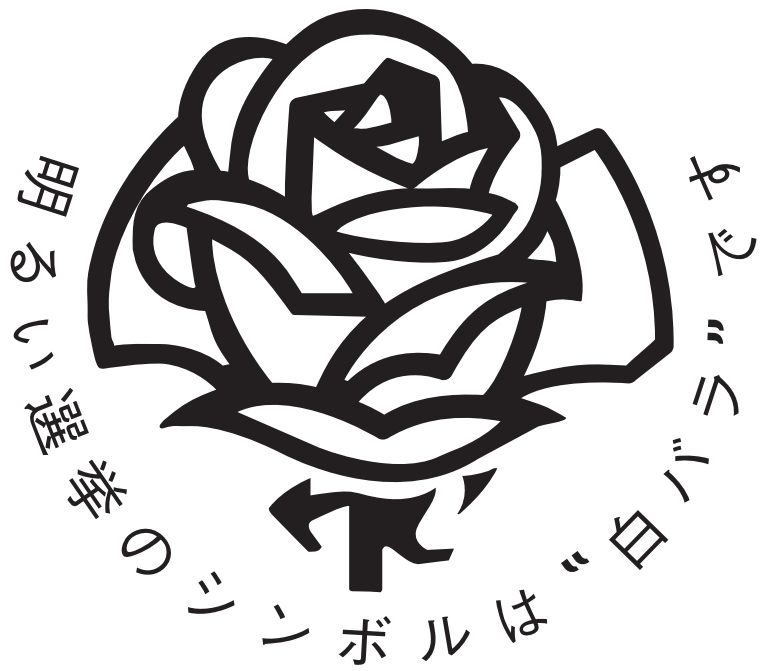
●当日、投票に行けない人は、期日前投票をご利用ください。

(3) (この選挙公報は候補者のうち申請のあった方について、提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものです。)

令和7年4月13日執行

真庭市議会議員選挙「選挙公報」

真庭市選挙管理委員会



みんなそろって
投票しましょう!

投票日 **4月13日(日)**

投票時間 **午前7時から午後6時まで**

- 当日、仕事や用事があると見込まれる方は、期日前投票ができます。ご自分の入場券の裏側をご確認の上、いずれかの期日前投票所で投票してください。
- 入場券が届いていても投票日までには市外に転出された方は、投票できません。
- 投票場所と投票時間は、入場券表面でお確かめください。

この選挙公報の掲載順序は、抽選によって決められたものです。